

令和8年度 研究調査部の活動

1 研究調査部の主な活動内容

役職定年後の働き方の選択に関する実態調査の実施（令和6年度より実施）

2 目的

年金法の改正に伴い、年金の満額支給が65歳に繰り上げられる中、初の定年移行期にあたり、役職定年後の新入会員の働き方の選択に関する実態を把握し、会員福祉の増進に資する。

3 対象

校長を役職定年した新会員 ・ 生年月日が昭和39年4月2日以降の方

4 結果の公表

埼玉県退職校長会 会報（毎年4月に発行される会報に掲載）

埼玉県退職校長会 ホームページに掲載

5 部会の協議内容

- ・前年度実態調査集計の報告
- ・本年度研究方向の提案決定
- ・調査項目・内容の検討修正
- ・各支部の部員を通して、新会員へ送付
- ・回収方法、集計 考察 等について
- ・今後の予定

6 その他

- ・県教委等への要望書作成
- ・『彩の国教育の日』協賛 現職・退職研究推進協議会

第1回 研究調査部会

令和8年8月27日(木) 浦和コミュニティーセンター第6集会室 14時～16時

令和7年度 第2回研究調査部会（別紙7年11月25日議事録）より本年度も調査を実施・継続する。

- ① 令和6年度より定年移行期にあたり、「役職定年後の働き方の選択に関する実態調査」実施の3年目の本年度も「実態調査」を実施する。
- ② 必要に応じて調査項目や内容の修正等、検討するが、ある程度同じ内容で継続調査する。
- ③ 【改善への工夫】今後の改善への工夫のための意見や感想を得るため、質問7に働き方への要望やどんな情報がほしいか、処遇・働き方・制度の周知説明・調査情報等に関しての記入欄を設定した
- ④ 調査日程等について（令和8年度）
 - 9月上旬～9月中旬に各部員に配布 ⇒ 部員から9月中旬、新会員に配布
 - 新入会員からの回収 ⇒ 10月 16 日(金)締切
- ⑤ 調査方法等について
 - 8年度より調査用紙のはじめに調査の目的・趣旨を記入する。
 - 調査人数にこだわりがあるが調査項目、方法等実施後に反省点は検討していく。
- ⑥ 今年度の新入会員数
 - 新入会員数 64名
 - 調査対象数 49名（昭和39年4月2日以降の生年月日の会員）

第2回 研究調査部会 日時 令和8年11月19日(木) （14：00～16：00）

会場 浦和コミュニティーセンター 10階 第8集会室

※ 調査項目、集計結果についての検討・考察、来年度の方向性について 等